

1. 調査の概要

- ・調査期間：令和8年5月7日（木）～7月7日（火）
- ・調査対象：県内で事業を営む企業等（情報通信業を除く）
- ・回答方法：電子申請
- ・回答数：606

2. 回答者の属性

- ・業種：製造業 27%、建設業 13%、医療・福祉 13%等
- ・所在地：仙台 56%、石巻・登米 19%、大崎・栗原 11%等
- ・従業員数：5人以下 17%、6～20人 23%、21～50人 21%、51～100人 15%、101～300人 15%、301人以上 10%

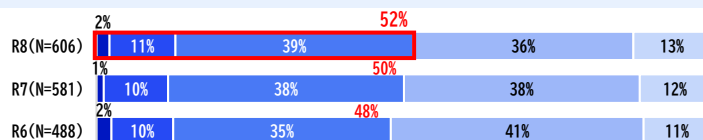
3. 調査結果

※詳細はウェブページを参照願います。 <https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/sangyod/digital-dx-anketo.html>

（1）デジタル化の取組状況

① デジタル化の進捗状況

「かなり進んでいる」「進んでいる」「ある程度進んでいる」と回答した企業等は、昨年度から2ポイント増加し52%となった。



■ かなり進んでいる ■ 進んでいる ■ ある程度進んでいる ■ あまり進んでいない ■ 進んでいない

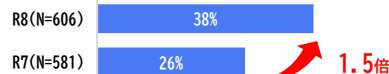
② AI導入率とAI導入ニーズ

AI導入率とAI導入ニーズに急速な高まりが見られた。

【AIを導入している企業の割合】



【今後AIを導入したいと回答した企業の割合】

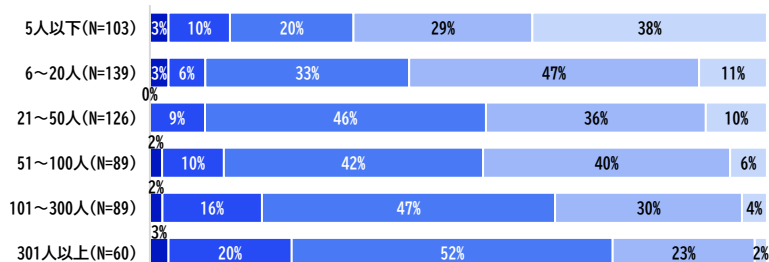


2.6倍

1.5倍

③ 従業員数とデジタル化取組状況

従業員数が多い企業等ほどデジタル化が進んでいる。

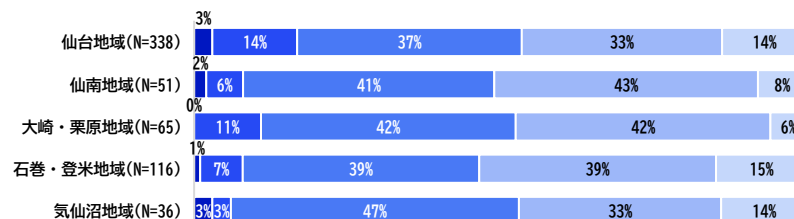


■ かなり進んでいる ■ 進んでいる ■ ある程度進んでいる ■ あまり進んでいない ■ 進んでいない

④ 所在地とデジタル化取組状況

仙台地域以外の地域において「かなり進んでいる」「進んでいる」「ある程度進んでいる」と回答した企業等の増加傾向が見られた。

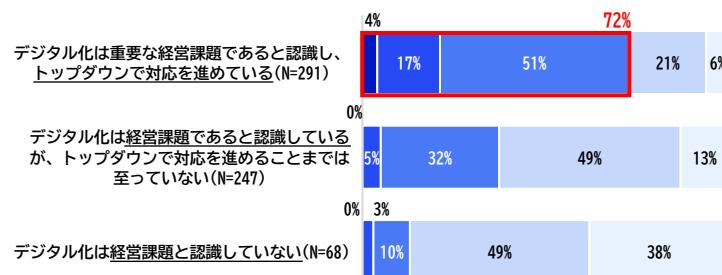
- － 仙南地域では昨年度から5ポイント増加し、49%となった。
- － 大崎・栗原地域では昨年度から13ポイント増加し、53%となった。



■ かなり進んでいる ■ 進んでいる ■ ある程度進んでいる ■ あまり進んでいない ■ 進んでいない

⑤ 経営トップのデジタル化へのコミットメントとデジタル化取組状況

経営トップが関与するほどデジタル化が進んでいる。



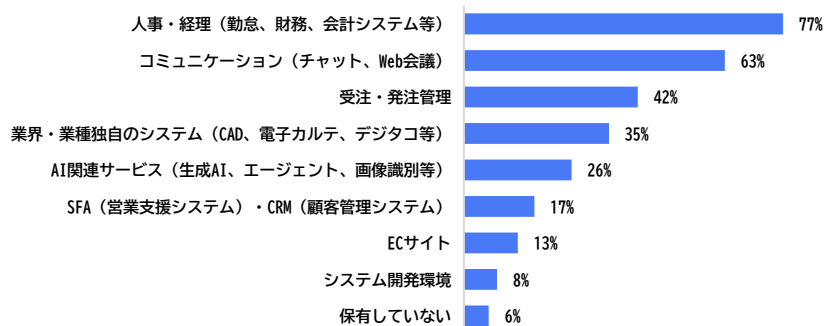
■ かなり進んでいる ■ 進んでいる ■ ある程度進んでいる ■ あまり進んでいない ■ 進んでいない

(2) 保有・活用するITツールと導入効果

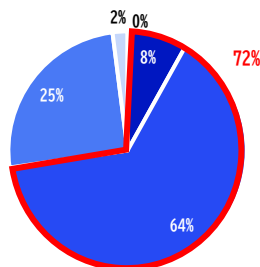
「人事・経理」や「コミュニケーション」で使用するITツールの保有割合が高い。また、ITツール保有企業の72%が、導入により「大きく効果が出た」「効果が出た」と回答している。

① 保有・活用するITツール

(N=606)複数回答



② 導入効果



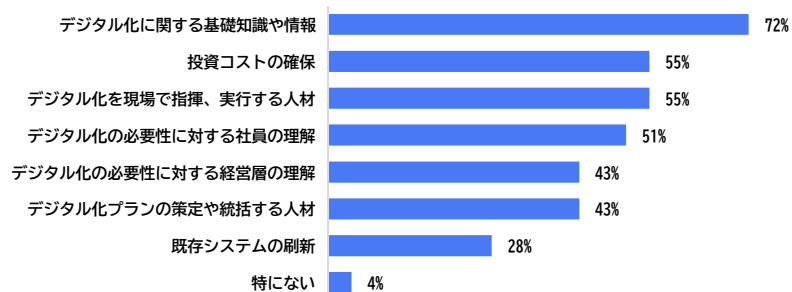
ITツールを保有している企業(N=571)単一回答

- ・大きく効果が出た
- ・効果が出た
- ・どちらともいえない
- ・あまり効果が出ていない
- ・全く効果が出ていない

(3) デジタル化を進めるために必要な要素

デジタル化推進には「基礎知識や情報」「投資コストの確保」「デジタル化を現場で指揮、実行する人材」「デジタル化の必要性に対する社員の理解」が必要とされている。

(N=606)複数回答

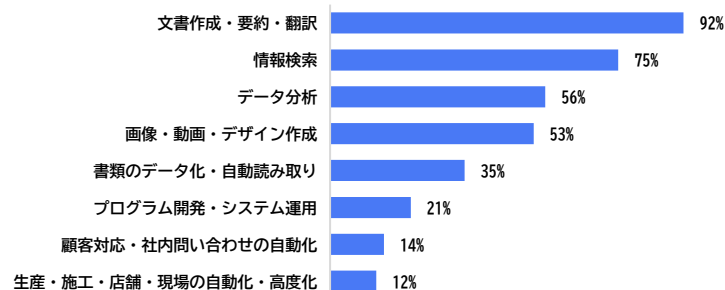


(4) 現在AIを活用している業務と今後AIを活用したい業務

現在は「文書作成・要約・翻訳」や「情報検索」でAIが活用されている割合が高く、今後は「データ分析」や「書類のデータ化・自動読み取り」での活用希望がある。

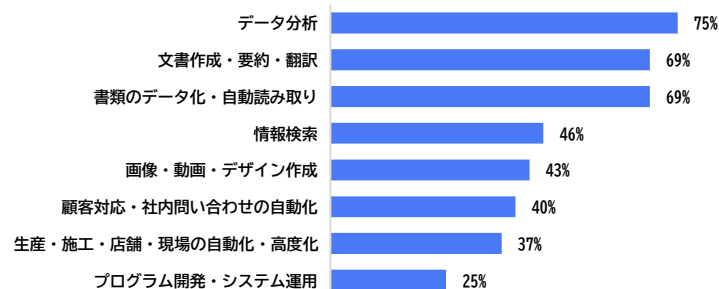
① 現在AIを活用している業務

AIを活用している企業(N=157)複数回答



② 今後AIを活用したい業務

今後AIを活用したい企業(N=232)複数回答



4. 本アンケートに関するお問い合わせ先

宮城県 企画部 産業デジタル推進課 産業デジタル推進第一班

TEL : 022-211-2478

FAX : 022-211-2495

Mail : sandigi1@pref.miyagi.lg.jp

H P : <https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/sangyod/index.html>